

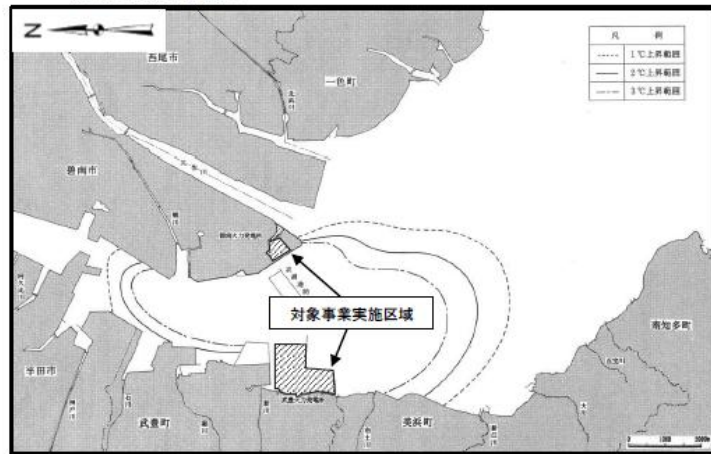
⑤ 海生動物（魚等の遊泳動物、底生生物（メガロベントス））に係る調査地点〔方法書 P294 第 6.2-4 図(1)〕

- ・ 魚等の遊泳動物、底生生物（メガロベントス）調査地点
 /○（5地点）

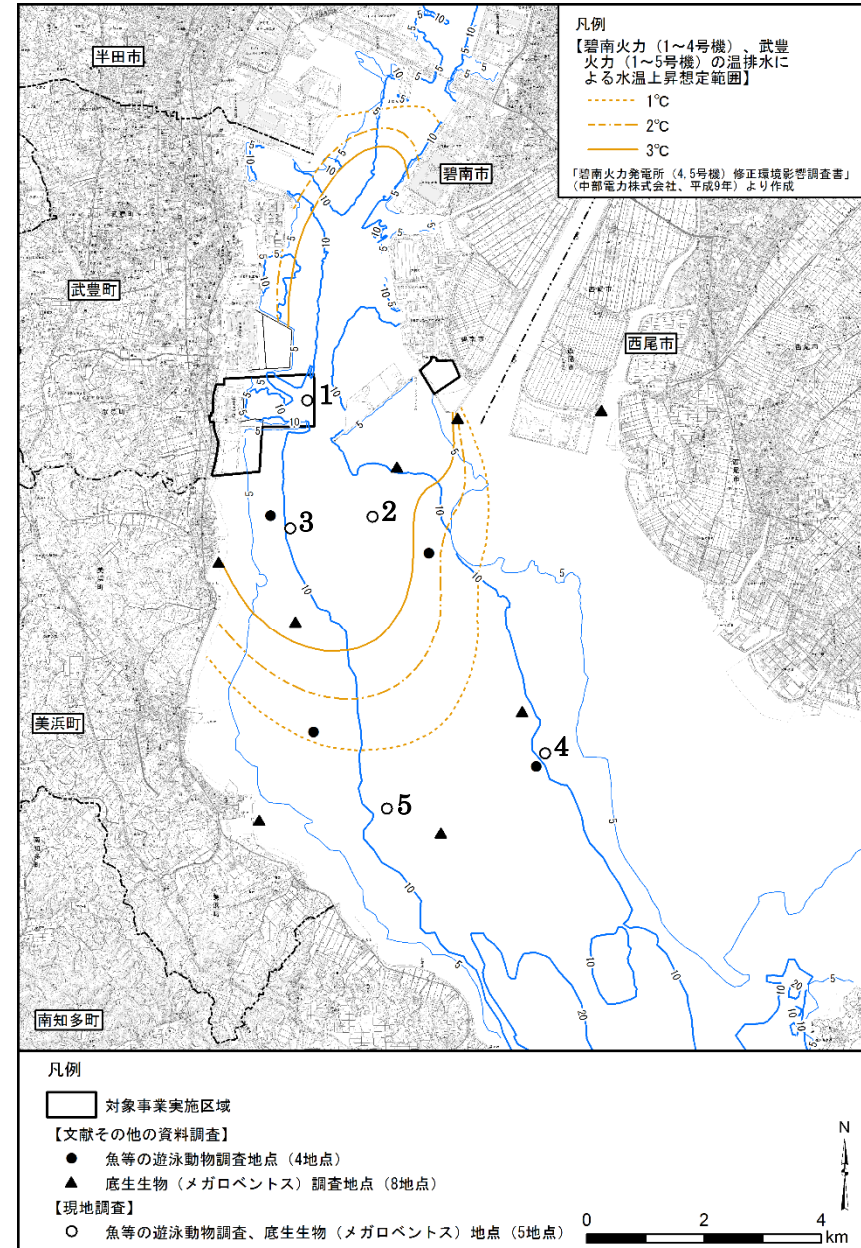
温排水による水温上昇想定範囲内の武豊火力発電所近傍の衣浦港の堤内側に1点（No.1）、堤外側に2地点（No.2、3）、温排水による水温上昇想定範囲の外側に2地点（No.4、5）選定しました。

なお、調査地点は魚等の遊泳動物の生息が見込める水深が10m程度の地点で、航行安全上、漁具の曳網が可能な地点を設定しました。

※ 温排水による水温上昇が想定される海域
 「碧南火力発電所（4、5号機）修正環境影響調査書」（中部電力株式会社、平成9年）における武豊火力発電所1～4号機及び碧南火力発電所1～5号機の温排水を含んだ拡散予測結果の範囲（下図の1℃上昇範囲）



〔「碧南火力発電所（4、5号機）修正環境影響調査書」（中部電力株式会社、平成9年）より作成〕



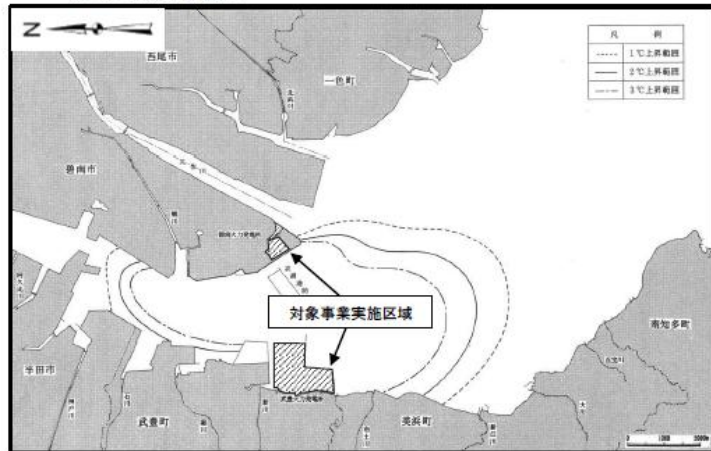
⑥ 海生動物（潮間帯生物）に係る調査地点〔方法書 P295 第 6.2-4 図(2)〕

- ・ 潮間帯生物（護岸）調査地点／△（10 地点）
- ・ 潮間帯生物（砂浜）調査地点／◇（1 地点）

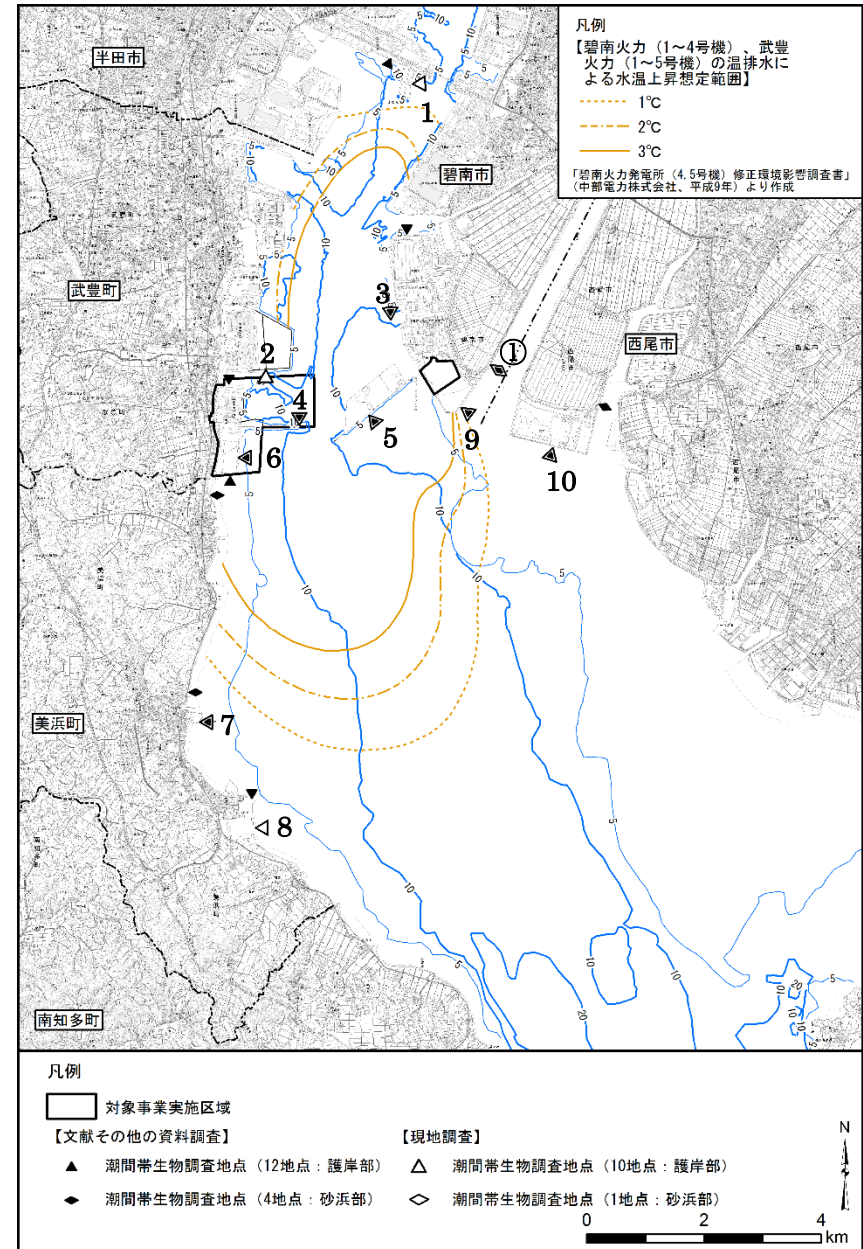
武豊火力発電所取水口近傍に 1 点 (No.4)、放水口近傍に 1 地点 (No.2)、温排水による水温上昇想定範囲内の堤内側に 1 点 (No.3)、堤外側に 3 点 (No.5、6、9)、水温上昇想定範囲外の堤内側に 1 点 (No.1)、堤外側に 4 点 (No.7、8、10、砂浜部 No.①) 選定しました。

なお、砂浜部 No.①は矢作川河口域の地点で、生物の生息基盤である砂の流動が大きいいため、最新の情報を得るため現地調査を実施します。

※ 温排水による水温上昇が想定される海域
 「碧南火力発電所（4、5号機）修正環境影響調査書」（中部電力株式会社、平成9年）における武豊火力発電所1～4号機及び碧南火力発電所1～5号機の温排水を含んだ拡散予測結果の範囲（下図の1℃上昇範囲）



〔「碧南火力発電所（4、5号機）修正環境影響調査書」（中部電力株式会社、平成9年）より作成〕

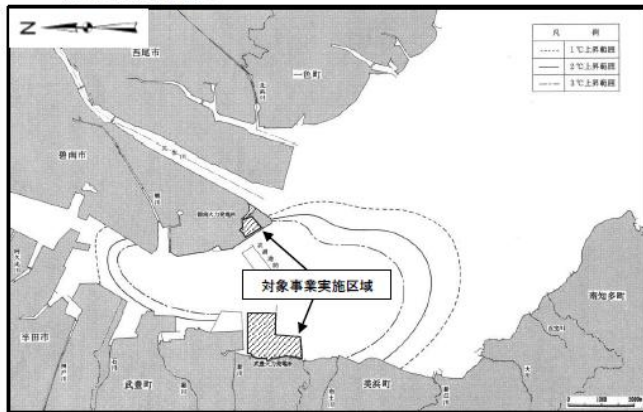


⑦ 海生動物（底生生物（マクロベントス）、動物プランクトン、卵・稚仔）に係る調査地点〔方法書 P296 第 6.2-4 図(3)〕

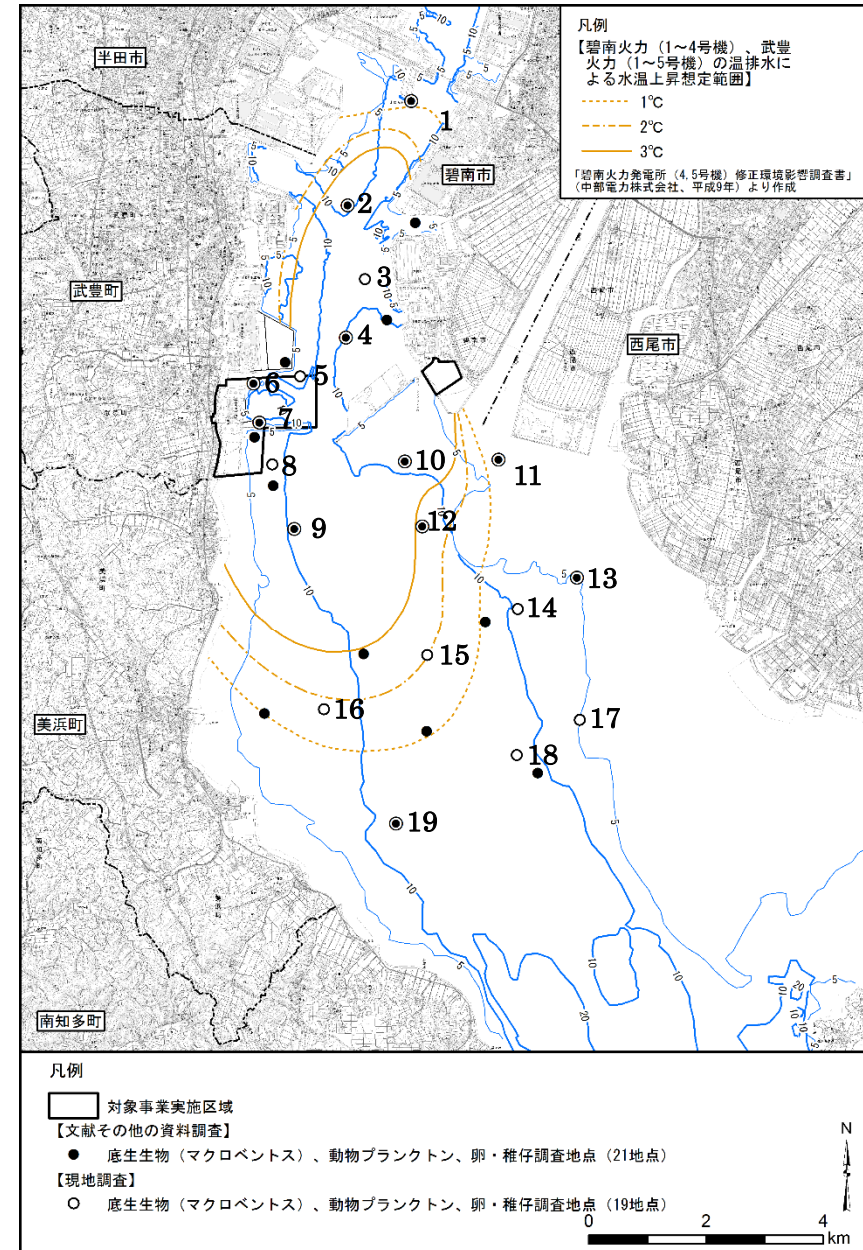
・ 底生生物（マクロベントス）、動物プランクトン、卵・稚仔調査地点／○（19 地点）

武豊火力発電所取水口近傍に 1 点（No.7）、放水口近傍に 1 地点（No.6）、また、温排水による水温上昇想定範囲（1℃以上）を考慮し、発電所からの距離に応じて地点を配置し、水温上昇想定範囲内の堤内側に 4 点（No.2、3、4、5）、堤外側に 6 点（No.8、9、10、12、15、16）、水温上昇想定範囲外の堤内側に 1 点（No.1）、堤外側に 6 点（No.11、13、14、17、18、19）選定しました。

※ 温排水による水温上昇が想定される海域
 「碧南火力発電所（4、5号機）修正環境影響調査書」（中部電力株式会社、平成9年）における武豊火力発電所1～4号機及び碧南火力発電所1～5号機の温排水を含んだ拡散予測結果の範囲（下図の1℃上昇範囲）



〔「碧南火力発電所（4、5号機）修正環境影響調査書」（中部電力株式会社、平成9年）より作成〕

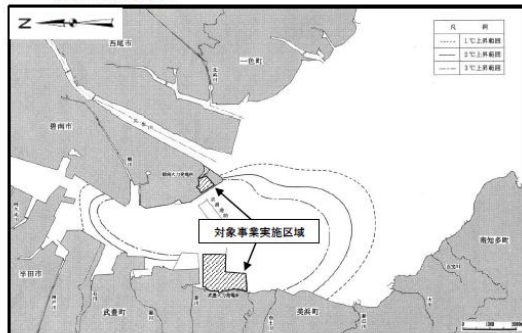


⑧ 海生植物（潮間帯生物）に係る調査地点〔方法書 P303 第 6.2-6 図(1)〕

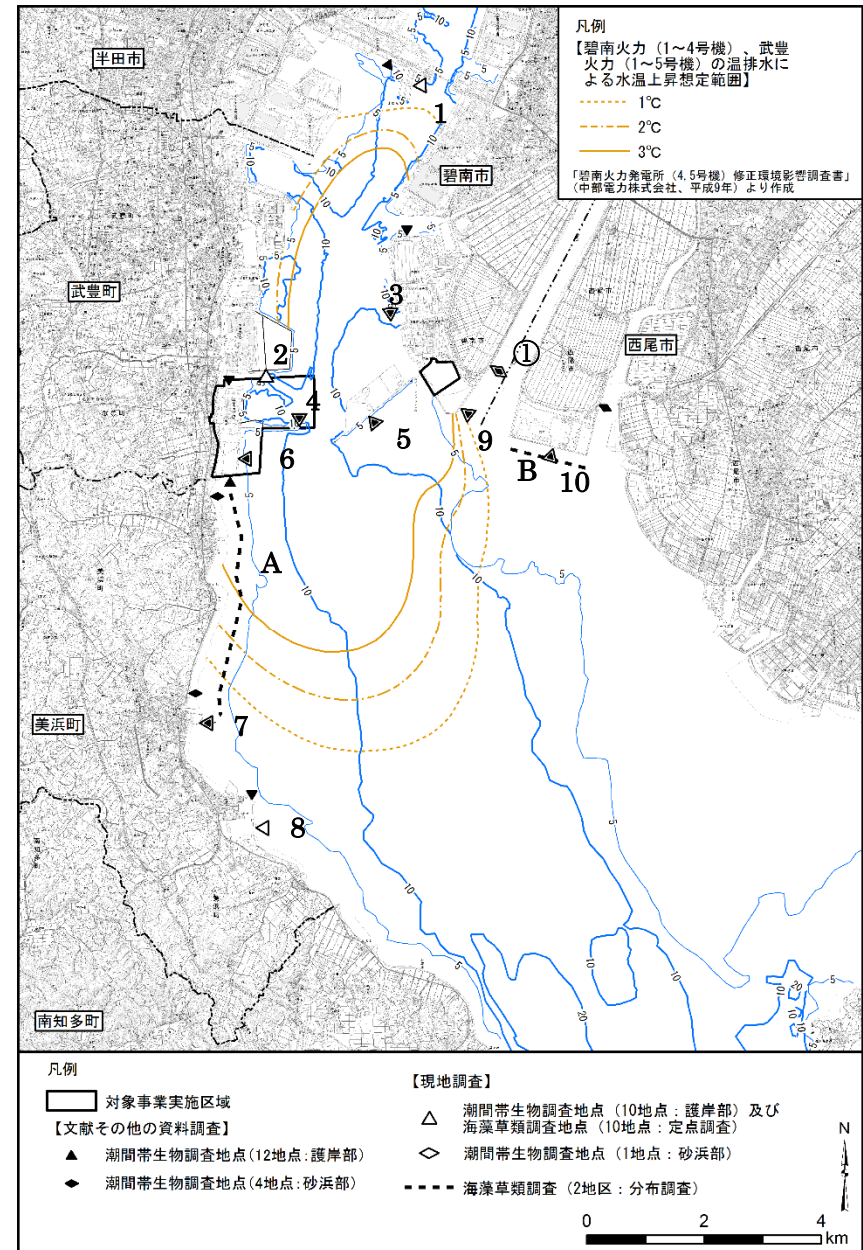
- ・ 潮間帯生物（護岸）調査地点／△（10 地点）
- ・ 潮間帯生物（砂浜）調査地点／◇（1 地点）
武豊火力発電所取水口近傍に 1 点（No.4）、放水口近傍に 1 地点（No.2）、温排水による水温上昇想定範囲内の堤内側に 1 点（No.3）、堤外側に 3 点（No.5、6、9）、水温上昇想定範囲外の堤内側に 1 点（No.1）、堤外側に 4 点（No.7、8、10、砂浜部 No.①）選定しました。

- ・ 海藻草類調査地点／……（2 ライン）
 定点調査：護岸 10 地点において、まとまった海藻草類の群落を確認された場合に調査を実施します。
 分布調査：文献調査により調査海域内に藻場は確認されていませんが、美浜町地先海域（A）にはアマモ、アカモク、ワカメ等の小規模な群落があり、矢作川河口前面（B）にはアマモの小規模な群落が存在する可能性があり、海藻草類の調査地点として選定しました。

※ 温排水による水温上昇が想定される海域
 「碧南火力発電所（4、5号機）修正環境影響調査書」（中部電力株式会社、平成9年）における武豊火力発電所1～4号機及び碧南火力発電所1～5号機の温排水を含んだ拡散予測結果の範囲（下図の1℃上昇範囲）



〔「碧南火力発電所（4、5号機）修正環境影響調査書」（中部電力株式会社、平成9年）より作成〕



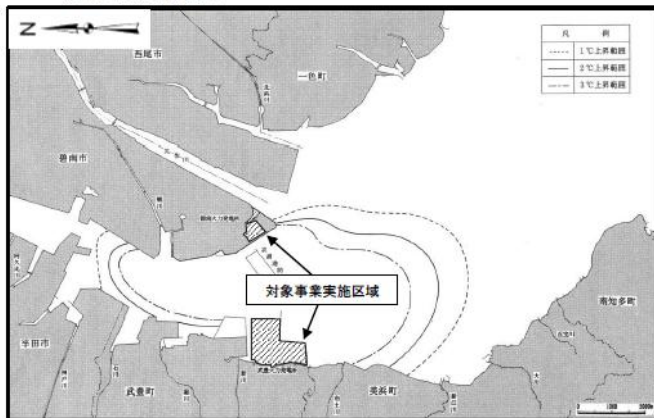
©2015 中部電力株式会社

⑨ 海生植物（植物プランクトン）に係る調査地点
 [方法書 P304 第 6.2-6 図(2)]

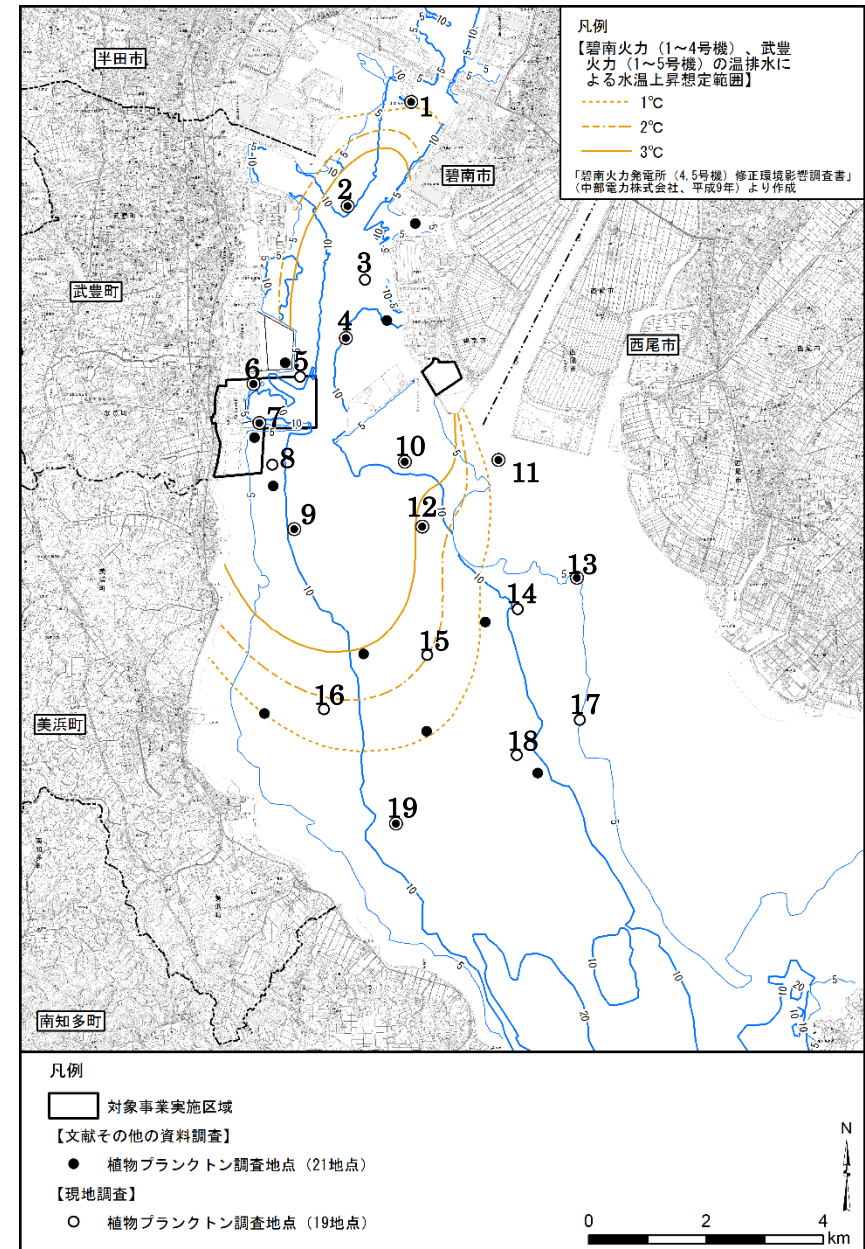
・ 植物プランクトン調査地点／○（19 地点）

武豊火力発電所取水口近傍に 1 点（No.7）、放水口近傍に 1 地点（No.6）、また、温排水による水温上昇想定範囲（1℃以上）を考慮し、発電所からの距離に応じて地点を配置し、水温上昇想定範囲内の堤内側に 4 点（No.2、3、4、5）、堤外側に 6 点（No.8、9、10、12、15、16）、水温上昇想定範囲外の堤内側に 1 点（No.1）、堤外側に 6 点（No.11、13、14、17、18、19）選定しました。

※ 温排水による水温上昇が想定される海域
 「碧南火力発電所（4、5号機）修正環境影響調査書」（中部電力株式会社、平成9年）における武豊火力発電所1～4号機及び碧南火力発電所1～5号機の温排水を含んだ拡散予測結果の範囲（下図の1℃上昇範囲）



[「碧南火力発電所（4、5号機）修正環境影響調査書」（中部電力株式会社、平成9年）より作成]



○景観の環境要素の考え方について

方法書では以下のとおり、主要な眺望点、景観資源、主要な眺望景観を整理しており、本計画が主要な眺望景観に与える変化の程度を予測します。

- ・ **主要な眺望点**：調査地域内に存在する不特定かつ多数の者が利用している場所及び地域住民が日常生活上慣れ親しんでいる場所のうち、発電所（本計画では武豊火力発電所）を望むことができる場所を指します。

方法書では、主な眺望点として武豊緑地や武豊町自然公園など 17 地点を選定し、その中から予測に用いる 4 地点の主要な眺望点（武豊緑地、河和口海岸、富貴支所、佐久島航路）を選定しました。

- ・ **景観資源**：山岳や湖沼等に代表される自然景観資源及び歴史的文化財価値のある人文景観資源を指します。

なお、方法書では、それ以外にも一般公募により選ばれた「美しい愛知づくり景観資源 600 選」も景観資源として扱い、景観資源として壱町田湿地や蔵の味など計 49 地点を選定しました。

- ・ **主要な眺望景観**：一般的には、主要な眺望点からの景観資源に対する眺め（空、海、公園、橋などの地域を構成する要素を含む）のことを指します。（図 1）

ただし、方法書では、主要な眺望点から武豊火力発電所を望んだ時に確認できる景観資源が存在しなかったことから、主要な眺望点から武豊火力発電所を望んだときの景観を主要な眺望景観として扱っています。（図 2）

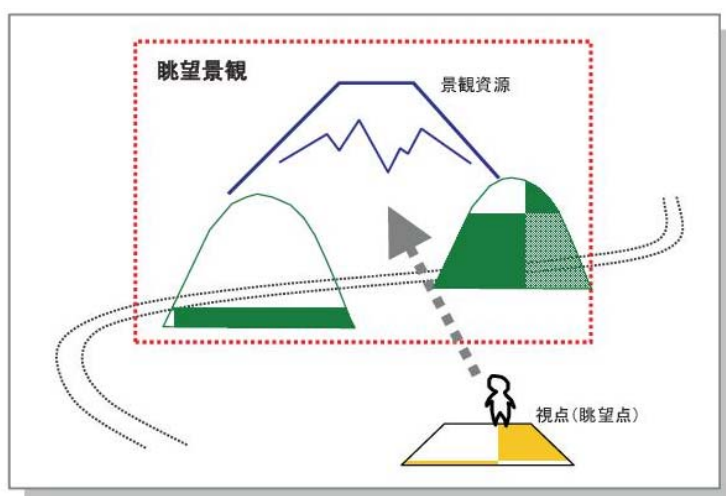


図 1 環境影響評価における景観対象（眺望景観）の現状

「環境影響評価技術ガイド 景観」（環境省，平成 20 年）より引用



図 2 本事業における「主要な眺望景観」の事例